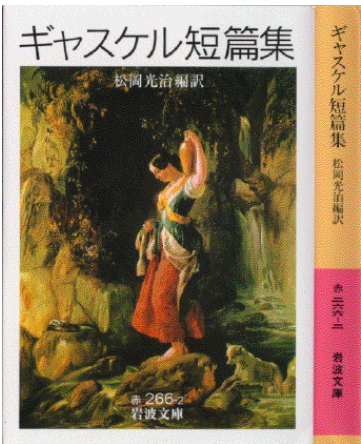


研究者総覧：松岡 光治 (MATSUOKA, Mitsuharu)

氏名	松岡 光治 (MATSUOKA, Mitsuharu)	
職名	教授	
所属講座	ヨーロッパ言語文化講座	
学位（専攻分野）	MPhil (English and American Studies) University of Manchester	
メールアドレス	matsuoka@nagoya-u.jp	
個人のホームページ	http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/~matsuoka/	
研究分野（3つまで）	十九世紀イギリス文学	
	ヴィクトリア朝文化史	
	翻訳技術論	
現在の研究テーマ	英文学に見られる暴力（特にイジメと自殺）の言説研究	
所属学会	日本ヴィクトリア朝文化研究学会	
	ディケンズ・フェロウシップ日本支部	
	日本ギヤスケル協会	
主要著書・論文	<i>Evil and Its Variations in the Works of Elizabeth Gaskell: Sesquicentennial Essays</i> , ed. Mitsuharu Matsuoka (Osaka: Osaka Kyoiku Tosho, 2015)	
	『ヴィクトリア朝幽霊物語（短篇集）』（編訳、アティーナ・プレス、334 頁、2013 年）	
	『ディケンズ文学における暴力とその変奏—生誕二百年記念』（編著、大阪教育図書、xii+288 頁、2012 年）	
	『ギッシングを通して見る後期ヴィクトリア朝の社会と文化・ 生誕百五十年記念』（編著、科研費助成出版、溪水社、553 頁、2007 年）	
	『ギヤスケル短篇集』（編訳、岩波書店、岩波文庫、375 頁、2000 年）	
自己紹介文	私の専門分野は 19 世紀イギリス文学で、特にディケンズ、ギヤスケル、コリンズ、ギッシングに関心があります。詳しいことは、私が制作した各作家のホームページを御覧ください。そこでは、世界中で利用できるように作成したコンコードダンスや電子テキスト、その他、さまざまな情報を公開しています。上に挙げた作家たちは、ヴィクトリア朝の繁栄が	

	<p>実体から遊離した幻想にすぎないこと、そして繁栄の表面下に隠された過酷な現実や忍び寄る危機的状況を察知していた人たちです。</p> <p>19世紀イギリスのヴィクトリア朝社会は、それを投影している現代の日本（戦後の日本が歩んだ復興からバブルとその崩壊への道は、産業革命後のヴィクトリア朝の大好況期とその没落の投影）に生きる我々に多くのことを教えてくれます。当時の英国社会を考察することは、日本の現代社会を是正する上で非常に有益なのです。しばらく私の関心が他に移ることはあっても、ヴィクトリア朝の作家研究がライフワークになることは間違いありません。50歳台半ばとなり、既視感と未視感が入り交じり始め、周囲の人に迷惑をかけているようですが、既視感も未視感も複雑な現代社会を生き抜くための自己欺瞞的な戦略だと思い、人目を気にせず思いのままに振る舞っています。ただ、体力の衰えには抵抗したいので、隔日で（自己欺瞞で間隔を空けることも確実にありますが）6キロほどジョギングをしています。</p>
<p>受験生へのメッセージ</p>	<p>英語高専人コースの受験生に求めたいのは、「でもしか院生」となって就活を最優先することではなく、院生時代に自分の英語力をできるだけ高めることです。就職難が続く昨今、修士号という資格にさほどの意味はなく、むしろ検定試験の高いスコアに裏打ちされた実力の方が就活では有利に働くはず。とはいえ、街中の語学学校で小手先の技術を習っても、スコアの伸びは頭打ちとなるでしょう。英語高専人コースには英語の4技能すべてを高めるための授業が数多くあり、語学学校では得られない学際的な教養を高いレベルで身につけることができます。私が担当している授業は「ヨーロッパ都市文化論」ですが、これは英語高専人コースの学生には「翻訳技術演習」として開講されており、大学や高等教育機関の英語教員として役立つ読解力を養成しています。受講者には、英文法と前後関係を車の両輪として捉え、まだ日本語に訳されていないヴィクトリア朝の小説を精読してもらい、当時の社会と文化のキーワードを詳しく調べて発表してもらい</p>



編訳（岩波文庫、2000年）

ます。これらの作業は論文を書くための大切な基礎となりますが、大学院生として最も重要なのは、そうした作業の成果を料理する時に必要な独自のアプローチや視点という包丁を手に入れることです。そのためには授業に関係のある分野のみならず、他の領域分野でも、できるだけ多くの文献を（こちらは時間の関係で翻訳を利用して構いませんが）渉猟してください。